

第15回吹田市バリアフリー懇談会
関係事業者の特定事業の実施状況について

- 大阪府茨木土木事務所
- 大阪府吹田警察署
- 西日本旅客鉄道株式会社（資料6－2）
- 阪急電鉄株式会社（資料6－3）
- 北大阪急行電鉄株式会社
- 大阪市高速電気軌道株式会社（資料6－4～7）
- 大阪高速鉄道株式会社（資料6－8）
- 阪急バス株式会社（資料6－9）

～ソフト対策の取り組み～

駅構内で働くグループ会社も協力して「駅係員等によるお客様へのお声かけ」

「お身体の不自由なお客様への対応」

- 「バリアフリーマニュアル」配布、教育実施（平成16年度～、全駅社員対象）
- 「サービス介助士」の資格取得を進めている（平成27年度～、駅社員対象）

「共助」の取り組み

ホームを歩かれる際に、お客様ご自身に気を付けていただくことと合わせて、周りのお客様にもご協力いただく「共助」が必要

- 冬季ホーム転落防止キャンペーン
- さわやかマナーキャンペーン



JR西日本のソフト施策 （社員の教育）

～お互いに見守り、助け合う「共助」の呼びかけ～

「共助」の呼びかけを、駅や車内の放送や画像を通じて継続的に実施

「共助」・・・お客様同士の声かけや譲り合いにより、お互いに見守り助け合う

- 駅・車内における放送
- 動画による啓発
- 静止画による啓発（「さわやかマナーキャンペーン」の一環）

JR西日本のソフト施策 （お客様への呼びかけ）

【動画による啓発】



【静止画による啓発】



マナーブログ「マナーって思いやり。」

お客様からいただいた駅や列車内で見かけたマナーに関する“思いやりエピソード”を紹介いただいたエピソードをもとに動画を作成
HPアドレス：<http://manner.westjr.co.jp>

ハリアフリーに関するソフト施策（運輸部社員のスキルアップのための取組み）

- インスタントシニア体験学習の実施
入社時、車掌・運転士昇格時に実施
- サービス介助士2級の取得推進
累計取得者数 1,140名 2019年の取得者数 70名（2019年12月時点）
- 交通事業従事者を対象とした手話教室の受講
累計受講者数 40名 2019年度の受講者数 1名（2019年12月時点）



サービス介助士2級の疑似体験風景

大阪市高速電気軌道

吹田市交通バリアフリー基本構想（江坂地区） 江坂駅のバリアフリー化事業

項目	内容	時期		
		H15	H22	R2
垂直移動施設の整備	地上からホームまでエレベーターによるワンルートを確保	(H14設置済)		
個別施設の整備改良等	南北改札口に自動幅広改札機を設置	(H14設置済)		
	多機能トイレ（車いす・シート・オストメイト対応）の設置	(H22設置済)		
	円滑な移動の推進に寄与するICカード導入	(H17導入)		
誘導案内情報施設の整備	構内案内表示	(H14整備済)		
	視覚障がい者誘導用ブロッツクの改善	(H15内方線設置)		
ソフト施策	駅員による車いす利用者等の乗降時における補助の徹底（スロープ板の利用等）			
	駅員の教育訓練の継続実施			

エレベーター(地上)



エレベーター(ホーム)



トイレ



地上から改札階

ホームから改札階

単身対応トイレ

トイレ



トイレ



音声誘導装置



オストメイト用水洗装置

ナビベッド

音声誘導装置
点字案内板

6号出入口

音声誘導装置

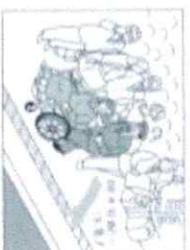
市営交通 バリアフリーナビ

市営交通バリアフリー
ハンドブック



大阪市交通局

6 ホームでの介助、12号での介助



- 1 ホームでの介助、12号での介助
- 2 ホームでの介助、12号での介助
- 3 ホームでの介助、12号での介助
- 4 ホームでの介助、12号での介助
- 5 ホームでの介助、12号での介助

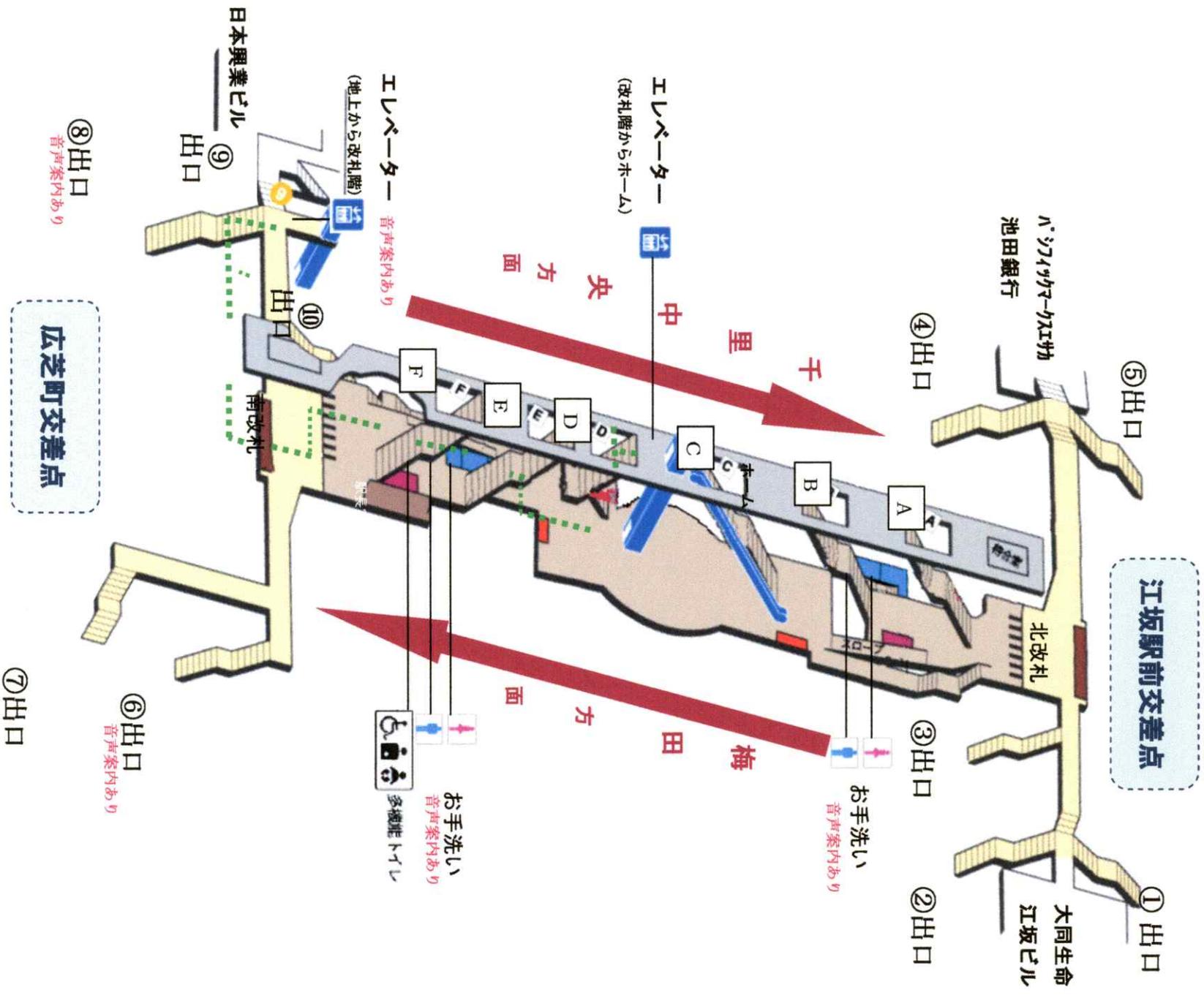
エレベーター前(地上階)



表紙

内容の一例

江坂駅構内図



広芝町交差点

江坂駅前交差点

エレベーターによる
地上からホーム階までのルート

平成31年度 バリアフリー研修について

取組内容	研修	内 容
身体障がい	運輸部 現場研修	車いす介助
〃	新規採用者研修	視覚障がい者の誘導・車いす介助体験 視覚障がいの方による講演
人権	管理職人権研修	ダイバーシティ時代に求められる人権知識の向上

可動式ホーム柵の設置について (大阪高速鉄道株式会社)

プラットフォームからの転落、列車との接触事故の防止を図ることを目的に、大阪モノレール各駅のプラットフォームに可動式ホーム柵の設置を進めております。2019年12月現在、5駅について運用開始をしております。残りの駅につきましても順次設置をすすめ、2022年度中の全駅運用開始を予定しております。

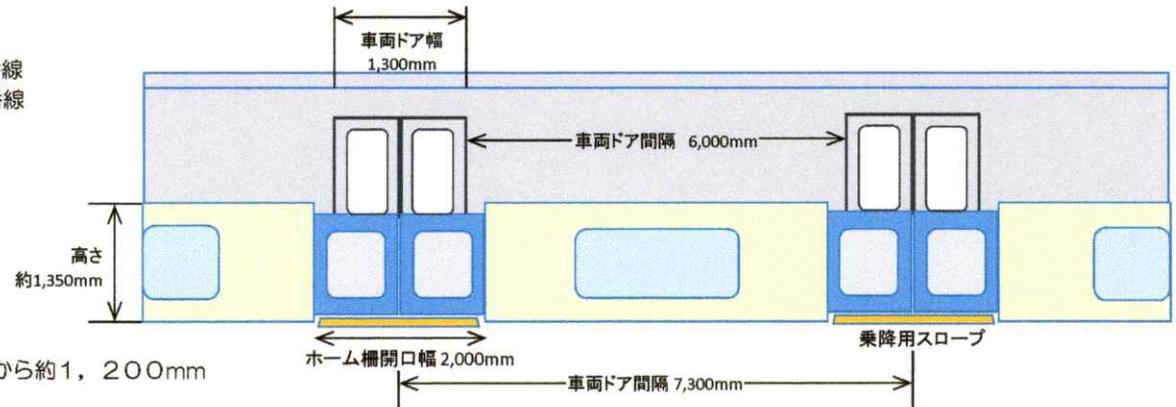
1. 現状

(1) 駅の現状

千里中央駅他16駅(万博記念公園駅除く) 島式ホーム1番線・2番線
万博記念公園駅 島式ホーム(2面3線) 1番線・2番線・3番線・4番線

(2) 電車の現状

1編成4両・車両長57.4m 8開口
1両・車両長(先頭車14.8m、中間車13.9m)



2. 設置する可動式ホーム柵の概要

(1) 可動式ホーム柵の仕様

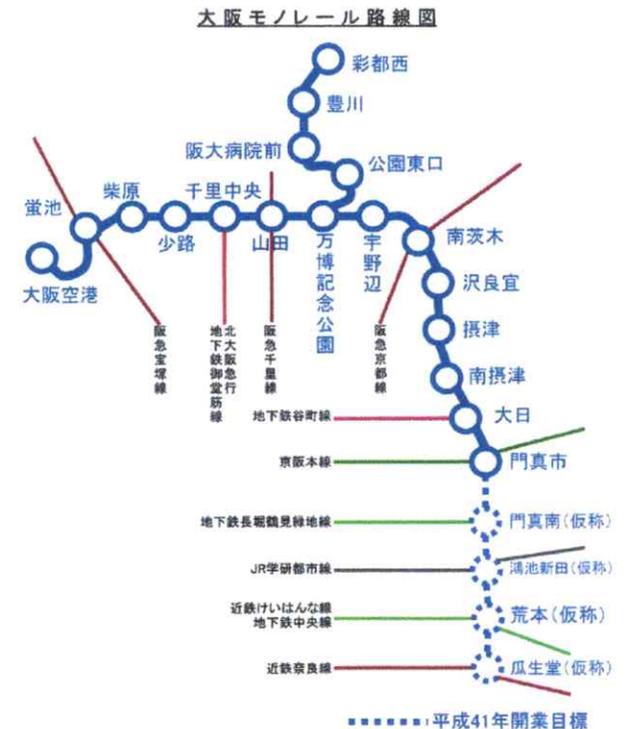
- ①腰高式 固定部ホーム床面から約1,350mm、可動部ホーム床面から約1,200mm
- ②開口幅 2,000mm
- ③ホーム部開口数 8開口/番線

(2) 可動式ホーム柵の動作概要

- ①プラットフォームに電車が進入して、定位置停車を検知して自動的にホーム柵が開く
- ②停止している電車が扉を閉めると、自動的にホーム柵は閉じる
- ③ホーム柵開閉時には開閉音を出力する
- ④支障物検知を行う(3Dセンサ使用)
- ⑤戸ばさみ検知を行う
- ⑥異常時にはホーム柵上部にて状態表示灯を点灯させる

(3) 工期、供用開始時期および設置駅(吹田市内駅)

- ①万博記念公園駅
工期:2019年10月下旬~2020年1月中旬(予定)
供用開始:2020年1月中旬(予定)
- ②山田駅
工期:2019年12月中旬~2020年2月下旬(予定)
供用開始:2020年2月下旬(予定)
- ③公園東口駅
工期:2022年度中(予定)
供用開始:2022年度中(予定)



吹田市域のバス車両のバリアフリー化進捗状況について

吹田営業所	2016年1月末	2017年1月末	2018年1月末	2019年1月末	2020年1月末 (予定)
① 配置車両数	42	42	51	52	50
② バリアフリー除外対象車	4	1	1	0	0
①-②=③ 小計	38	41	50	52	50
④ ノンステップバス	23	28	31	36	33
⑤ ノンステップバス	15	13	19	16	17
⑥ 他	0	0	0	0	0
④+⑤=⑥ バリアフリー対応車両数	38	41	50	52	50
⑥/③ バリアフリー対応化率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
④/③ ノンステップバス化率	60.5%	68.3%	62.0%	69.2%	66.0%

千里営業所 (吹田市域)	2016年1月末	2017年1月末	2018年1月末	2019年1月末	2020年1月末 (予定)
① 配置車両数	30	30	25	25	27
② バリアフリー除外対象車	0	0	0	0	0
①-②=③ 小計	30	30	25	25	27
④ ノンステップバス	15	16	17	18	20
⑤ ノンステップバス	15	14	8	7	7
⑥ 他	0	0	0	0	0
④+⑤=⑥ バリアフリー対応車両数	30	30	25	25	27
⑥/③ バリアフリー対応化率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
④/③ ノンステップバス化率	50.0%	53.3%	68.0%	72.0%	74.1%

吹田市域計	2016年1月末	2017年1月末	2018年1月末	2019年1月末	2020年1月末 (予定)
① 配置車両数	72	72	76	77	77
② バリアフリー除外対象車	4	1	1	0	0
①-②=③ 小計	68	71	75	77	77
④ ノンステップバス	38	44	48	54	53
⑤ ノンステップバス	30	27	27	23	24
⑥ 他	0	0	0	0	0
④+⑤=⑥ バリアフリー対応車両数	68	71	75	77	77
⑥/③ バリアフリー対応化率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
④/③ ノンステップバス化率	55.9%	62.0%	64.0%	70.1%	68.8%

全営業所	2016年1月末	2017年1月末	2018年1月末	2019年1月末	2020年1月末 (予定)
① 配置車両数	880	888	882	882	874
② バリアフリー除外対象車	24	19	26	26	22
①-②=③ 小計	856	869	856	856	852
④ ノンステップバス	406	437	459	459	513
⑤ ノンステップバス	436	423	397	397	339
⑥ 他	14	9	0	0	0
④+⑤=⑥ バリアフリー対応車両数	842	860	856	856	852
⑥/③ バリアフリー対応化率	98.4%	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%
④/③ ノンステップバス化率	47.4%	50.3%	53.6%	53.6%	60.2%